

## 「算数」から「数学」への大いなる一歩

### ＜2つの小学校での出前授業＞

昨日3月12日(火)に荻川小学校に出向いて、4月から中学校に進学する小学校6年生に出前授業をしてきました。同じように、結小学校では3月14日(木)に予定しています。

内容は、令和5年11月6日の全校朝会で、中学生に話をしたものと同様の内容の焼き直しです。本校長だよりNo.37「答のない世界に答を探しに行こう！」というタイトルでも既に紹介しました。

今回、新入生向けに、算数の問題を題材に、新津二中がどんな学校をめざしているのか、また、中学校での大切にしてほしい学びについて理解してもらいたいと思って実施しました。

みなさん立派な態度で真剣に私の話をきいてくれて、とても感激しました。結小学校での授業も楽しみにしています。

～新入生の皆さんへ～  
**「中学校で大切にしたい学び」**

令和6年3月12日(火)  
荻川小学校 出前授業

小学校の復習

①  $6 \div 2 = 3$   
②  $20 \div 5 = 4$   
③  $1000 \div 100 = 10$

今日の問題

①  $0 \div 1 = ?$   
②  $0 \div 0 = ?$   
③  $1 \div 0 = ?$

①  $0 \div 1 = ?$   
②  $0 \div 0 = ?$   
③  $1 \div 0 = ?$

今日の学習課題

この問題の答を導く過程で、大切なことがあります。その大切なこととは何だろうか？

①の答えは？

$6 \div 2 = 3$   
 $0 \div 1 = 0$

6÷2を考えるには2にいくつをかければ6になるかを考える。

②の答えは？

$0 \div 0 =$

- ・ 0にどんな数をかけても0になる
- ・ すべての数

不定

### ③の答えは？

$$1 \div 0 =$$

- ・ 0に何をかけても1にはならない。
- ・ そんな数は存在しない

不能

### 今回の問題の解答

- ①  $0 \div 1 = 0$
- ②  $0 \div 0 =$  不定  
(答は1つに決まらない)
- ③  $1 \div 0 =$  不能  
(答えは存在しない)

### 大切なことは何？①

ものごとを、**見かけだけで判断してはいけません。**

もちろん、**人間も見た目で判断してはいけません。**

### 大切なことは何？②

数学の世界はもちろん、みんなの生きる世界では、**答えが一つであるとは限らない。答えがない場合だってある。**

むしろ、そういう場合の方が多い。

### 大切なことは何？③

答があっているかどうかよりも、**なぜそうなるのか、**ということを追求めたり、その**理由を説明できる**ことが大切

自分一人で解決できないときには**みんなと協力して解決することが必要**

### まとめ

ものごとや人間を、**見かけだけで判断してはいけません。**

答があっているかどうかよりも、**なぜそうなるのか、**ということを追求めたり、その**理由を説明できる**ことが大切。

みんなの生きる世界では、**答えが一つであるとは限らない。答えがない場合だってある。**むしろ、そういう場合の方が多い。

自分一人で解決できないときには **みんなと協力して解決することが必要。**

だから、中学生になって君たちに望むことは・・・

### 中学生になる君たちに

ものごとや人間の**本質・本当の姿**を様々な角度や視点から**理解**できる人間をめざしてください。

人との関わりを避けることなく、**公正・公平な眼で、相手のことを尊重**しながら、だれとでも**平等**に接することができる人間をめざしてください

「いじめ」や「いさかい」のない学校  
だれもが**幸せを実感**できる学校

新津第二中学校はそんな学校をめざしています

さて、中学校に入ると「算数」は「数学」に変わります。何が違うのでしょうか？

「算数」は、数を使って「正しい答を導くこと」が目的です。

それに対して「数学」は、「な

ぜそうなるのか」を論理的に説明することがより求められます。つまり、結果だけでなく、いや結果以上に過程が重視されるのです。もちろん、答を導けるだけの知識や技能は最低限必要ですが、それだけでは「生きる力」としては不十分なのです。

数学だけでなく、中学校に入学したら、あらゆる教科あらゆる場面で、「なぜ？」「どうして？」「どうやって？」という思いを大切に自分の考えを明確にもつこと、そして、多様な伝え方や表現力を磨き、その中で良好な人間関係を構築できるようにしてください。

「数学」は、数を使って学ぶのではなく、その名の通り、数を通して生きる力を学ぶ学問なのです。他の教科も、よりよく生きるために必要だからこそ存在するのです。